




**Serge Gainsbourg
Jane Birkin**

AVEC
Paul Nicholas
ET
Curd Jurgens
DANS

Cannabis

ガラスの墓標
DE
Pierre Koralnik

MUSIQUE DE
Serge Gainsbourg

Presenté par Naoki Tachikawa avec la participation de  TOKYO FM / Distribué par Cable Hogue

Cannabis

ガラスの墓標



1969年/フランス=イタリア=西ドイツ/イーストマンカラー/テクニスコープ/90分

【スタッフ】

監督/ピエール・コラルニック
 原作/F・S・ジルベール
 脚本/フランツ=アンドレ・ビュルゲ
 ピエール・コラルニック

撮影/ウィリー・クラント
 音楽/セルジュ・ゲンズブール

【キャスト】

セルジュ/セルジュ・ゲンズブール
 ジェーン/ジェーン・バーキン
 ポール/ポール・ニコラス
 エメリー/クルト・ユルゲンス
 バルドシュ/ガブリエーレ・フェルゼッティ

Un film de Pierre Koralnik
 D'après le roman de F. S. Gilbert
 Adaptation de Frantz André Burguet

Pierre Koralnik

Images de Willy Kurrant
 Musique de Serge Gainsbourg

Serge : Serge Gainsbourg
 Jane : Jane Birkin
 Paul : Paul Nicholas /
 Emery : Curt Jurgens
 Bardeche : Gabriele Ferzetti

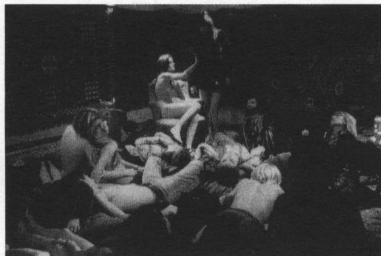
【解説】

過度のヘビー・スモーカーで酒と女遍歴に明け暮れたスカンダラスな男、セルジュ・ゲンズブール。異色の歌手、作詩・作曲家、俳優、映画監督、作家、詩人であった彼は“好き放題の生き方”をして1991年3月2日に心臓発作で急死した。62歳の早過ぎる死であった。だが、死後、彼の評価はフランス内外で高まるばかりで、日本では彼の監督としてのデビュー



作「ジュ・チーム・モワ・ノン・ブリュ」のりヴァイバル上映、遺作「スタン・ザ・フラッシュヤー」(90)、そして彼の幻の主演作「スローガ

ン」(69)が次々に公開され大きな話題となった。また、ヴァネッサ・バラディ主演「エリザ」はゲンズブールに捧げられていた。そのゲンズブールは、69年「スローガン」で共演したイギリスの新人女優ジェーン・バーキンと恋に落ち、



ふたりは同じ年にデュオで“ジュ・チーム・モワ・ノン・ブリュ”を発表、大ヒットする。

この「ガラスの墓標」は、“ジュ・チーム”の気分そのままに、ゲンズブール=バーキンの、全編に得体の知れないエロティシズムとデカダンな匂いをまき散らした異色のフィルム・ノワールである。暴力、麻薬、乱交パーティー、麻

薬パーティー、そしてジェーン・バーキンのファッションと「ガラスの墓標」は69年という時代の匂いが全編に漂わせる。と同時に、その当時、鮮烈な印象を与えたニュー・シネマの息吹を感じさせる新しいタイプのフランス映画でもあった。しかし、この映画はフィルム・ノワールである以上に“愛の映画”なのである。尚、原題の



「CANNABIS」の意味は“大麻”である。

フランスの麻薬組織を支配するエメリー一家の破壊を命じられた殺し屋、セルジュ。彼はエメリー一家との抗争で深手を負う。彼を自分の家に連れて帰り、匿ったのはジェーンだった。やがてふたりはジェーンの部屋で愛の歓喜にひたつた。だが、そこへセルジュの相棒ポールがやって来たことから、ドラマは意外な方向へ……。

監督はスイスのテレビ界出身の新人ピエール・コラルニック。ゲンズブールはコラルニックが演出したアンナ・カリーナ、ジャン=クロード・ブリアリ主演のテレビのミュージカル『アンナ』(67)の音楽を担当している。

主演のセルジュ・ゲンズブールは、この作品の後、「カトマンズの恋人」(69)「女の望遠鏡」(73)でもジェーン・バーキンと共演し、75年には彼女が主演の「ジュ・チーム…」で監督としてデビューした。一方、11年間に及ぶゲンズブールとの結婚生活の後、彼と離婚したバーキンは、監督のジャック・ドワイヨンと出会い、彼の「ラ・ピラート」(84)などの作品に出演。ジャック・リヴェットの話題作「美しき静い女」(91)の後、彼女は監督にも進出した。共演陣は豪華である。ポップ・シンガーでケン・ラッセルの「リストマニア」(75)のポール・ニコラス、エメリー役にはドイツの国際スターで「悪の決算」(54)「素直な悪女」(56)のクルト・ユルゲンス、バルドシュ役には「情事」(60)「愛の嵐」(74)のイタリアの名優、ガブリエーレ・フェルゼッティが出演。

8/31(土)→9/11(水) 京都ロードショー!
連日、夜8:50~
レイトショー(終10:25)

■特別鑑賞券1,400円発売中■
 (当日/一般1,700円、学生1,500円の処)
 お求めは劇場窓口、河原町ビル、京都朝日シネマ、大丸京都店、
 四条河原町阪急、梅田EST1、チケットぴあ、チケットセゾン 他にて。

京都みなみ会館
 九条大宮・近鉄東寺駅西へ150m 075(661)3993
 ●上映お問合せはRCS=075(315)7281●

ゴダール連続レイトショー
 ・9/14(土)→25(金) 夜8:50~
万事快調
 出演: イヴ・モンタン、ジェーン・フォンダ

・9/28(土)→ 夜8:50~
ONE PLUS ONE
 出演: ザ・ローリンズ・ストーンズ

ゲンズブール&バーキン
 ファースト&ラスト・ビデオショー

8/28(水)→9/3(火)
心齋橋パラダイスホール
 アメリカ村BIG STEP 4F 06(282)1460

9/4(水)→10(火)
河原町VOXホール
 河原町三条下ル一筋東入ルVOXビル4F 075(255)0783